
活動報告より、長めの文章

ごはんライス

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

活動報告より、長めの文章

【Nコード】

N0203Y

【作者名】

ごはんライス

【あらすじ】

活動報告よりコピペ。4500件を越したので管理が難しい……。

(前書き)

半年前の考えであり、今はまた違う考えを持っている。

タイトル オレたちは人間だ。

日付 2011年 06月 06日 (月) 13時 53分 1
2秒

オレたちは人間だ。

ロボットじゃねえ。鉄腕アトムじゃねえ。ドラえもんじゃねえ。マジンガーZじゃねえ。ガンダムじゃねえ。エヴァンゲリオンじゃねえ。

だから、「低賃金重労働」だと苦しい（正社員も非正規労働者も大半は、現在、低賃金重労働だ）

ロボットみたいに燃料だけで動けばいいが（人間でいえば食べ物のことだね）、人間には書籍や映画や服がいる（つまりお金が意外とかかる）。ロボットみたいに200キロのものを持ち上げられればいいが、人間には無理だ（重労働に限界がある。重労働をやらせすぎると心と身体を痛める。実際に鬱病になって退職してる人も多い）。

しかし、そんな中でも妙な愉快さや陽気さがある。そもそも「低価格でよいサービス」を提供するとお客様が笑顔になる。これが何より嬉しい（単に、高い報酬を得てハッピー、ラクしてハッピーといくほど人間は単純ではない。高い報酬を得れば、もっと上を見て嘆き、ラクさせてもらえれば、さらにラクな人を見てため息をついまうのが人間だ。ロボットは賃上げがなくても重労働でも淡々と作業しててかっこいいし、偉いね）

ロボットは人間が笑顔になっても別に嬉しく思わないだろう。てことを考えると、ドラえもんやアトムはちよつと変なロボットだね。人間が悲しんでいると泣いてしまうロボットだから……。

それはともかくとして、想さんやリープのブログを見ていたら、新たに同人誌即売会に出かけている様子。

オレは遅々として進まない。冒頭二枚くらいを書いて停滞してる。

同人誌だけではない。「なろう」の作品も進んでないし、新人賞のも進んでない。

つまり、小説自体が停滞してる。

しかし、同人誌第二号の締め切りは7月であるし、新人賞も七月だ。「なろう」に締め切りはないが、待っている読者がいる。あまりモタモタしておれない。

ちよっと身体にムチを打って書かないといけない（その他、松ちゃん映画も六月封切りで、また、生徒に映画版「ドラ」の感想を求められてるので、それも観ないといけない）

とはいえ、楽しく書くというのを忘れてはならない。自分がつまらないと思った作品を読者が面白いわけがない、というのは最近いرونな人に言われた。

しかし、自分が楽しんで読者が面白がらない時がある。

ではどうすればいいのか。

思うに、葛藤しながらやればいいのではないか。

「こんなのつまんねえ」「これはおもしろい」という二人を脳内に配置し、戦わせながら書いていく。

できた作品がどっちかはわからん。

ただ「こんなのつまんねえ」と思って書いた作品より面白いはずだし、

「これはおもしろい」とだけ考えて自分勝手に書いた作品より読者が面白い可能性は高い。

もちろん、自分勝手に書いた作品に熱が生まれて売れる、ということや、

自分がつまらんがってるのに技術力があまりに高いので売れる、と

いうこともある。

あるけど、オレはまだその域に達していないので、地道に葛藤していききたいと思います。

地道に葛藤って変な言い方!!

タイトル 職種

日付 2011年 06月 03日 (金) 13時 40分 0秒

お笑い芸人という職業は地獄だ。

真面目な性格をしていても、世間からはふざけて生きてると思われるてしまう。

例えば、エロバイオレンスが売りの芸人がいたとして、日々必死に真面目に汗を流してコント撮影していたとしても、連日、徹夜徹夜徹夜の企画会議で多大なストレスを抱えていたとしても、彼女といっしょに、彼女の実家に行けば、彼女の、頭コンクリート親父に「お前みたいなゲス野郎に、うちの娘はやれん! この全身ぽこちん野郎めが!」なんて言われる。地獄だ。親父の孫に、「ちんこダンスやって」なんて言われながら……。この世の地獄である。

自衛官も地獄だ。

元々が割とくだけた、食事中にうんこの話をするのが実は大好きなおふざけ大好き人間だったとしても、世間から、深刻で真面目で正義にあふれたマッチョ男という窮屈なパブリック・イメージ押しつけられる。

例えば、彼女と道を歩いていて、前方に五百円玉が落ちてるのを発見したとする。普通のやつが拾って「やったね。これでジュース飲

もうぜ。華子」と言ってもあまり違和感はないが、自衛官が言うとな彼女に「あなたがそんな人とは思わなかったわ。警察にちゃんと届けるしっかりした人だと思ってたのに。バカ。それでも国を防衛する正義の公務員なの！」とほったを叩かれる。機嫌直しに、四万円のバッグを買わされる。地獄。まさに地獄である。

小説家は割と地獄じゃない。

文学という観点から見れば真面目だし、娯楽という観点から見ればふざけてる。割とバランスが取れてる。気楽なもんだ。

ただ、言い換えれば、真面目にもおふざけにも属することができないから、孤独ではある。お笑い芸人や自衛官には所属する場所がある。お笑い芸人はプリン中学おふざけ部に所属する。文化祭や校内放送などで面白いことをして、みんなを笑顔にさせる部。

自衛官は真面目部。学校の正義と生徒の安全を守る部。街で、プリン中学の生徒が他校の不良にボコされてたら助けに行き、プリン中学の不良が先生に理不尽な暴力を受けていたら助けに行き、先生が生徒にいじめられてたら助けに行く部。宮沢賢治みたいだな。

プリン中学は海に近いところにある。津波警報が出たら高台に誘導するのもこの部の役目だ。

小説家は帰宅部。帰宅してひたすら書く。果たしてその目的は、何なのか。一応、校内新聞にほそぼそと小説を掲載しているが、いったい何のために……。

小説を読んであまりの過激さに狂って自殺する生徒もいる。

一方で、小説を読んであまりの涙に自殺を取りやめる生徒もいる。

なかなか不思議な存在である……毒にも薬にもなる。

麻薬みたい。麻薬は医療に使われるし、人を廃人に追い込むこともある。

タイトル 3701

日付 2011年 06月 03日 (金) 09時 48分 4
8秒

何年前か。今の室長さんが半年。前の室長さんが二年半。ゆえに三年以上前の話か。

前の前の室長さんの時のお話。

その時、室長さんが「エリアマネージャーに昇格した」「社員旅行で韓国に行った」という話をしていて、うれしそうだったので、なんかイライラした。

アルバイトには、出世がない。そして、社員旅行がない。

無論、エリアマネージャーになれば相当の仕事を抱えるし、抱えるのであれば、社員旅行くらいの息抜きは必要だ。室長さんを責めることはない。

しかし、何かに怒りがわく。

なぜ、それができるのが、校舎でたった一人なんだ。うちの校舎で社員は室長一人であとはアルバイト講師のため、出世したり社員旅行に行けるのは、室長さんだけなのである。

このシステムに対して怒りがはちきれそうだ。

普通、社員旅行はみんな行けないといけないし、出世や昇給だって、十年以上勤務してる講師には採用してかないといけない。

「アルバイトは何年勤務してもないよ」と正社員の知り合いは言う。たぶん、オレがそうせんといかんと思ったのは、一時期、個人事業主制度を会社がとっていたからだ。

要するに、アルバイト待遇で正社員の仕事をやらすために、講師の肩書きを個人事業主（つまり、自営業者に仕事を委託するという形）結局、これは二三年で没になったが。

タイトル 民営化
日付 2011年 05月 17日 (火) 00時 36分 1
4秒

近年、政府は民間に任せようとする傾向が強い。

これは半分賛成で半分反対だな。

まず、賛成の理由。

？行政役人の過労死が防げる。

？頭のかたい役人と違って民間は発想が自由なので、いいアイデアがどんどん出る。

？獅子は谷に子を突き落とすという。行政が民間に任せて世話しないことにより、民間が鍛えられる、民間が無駄に甘えなくなる、という面が確かにある。

反対の理由

？民間の過労死が増える。

？民間は自己の利益獲得に走る性質を持つてるので、政府自治体の抑制が薄れると、犯罪に走りやすい。

？餓死者が増える。例えば、小学一年生に対して、お尻を拭いてあげるなんてことはせんでもいいけど、最低衣食住は与える。ネットカフェ難民を放置してる政府は親失格だ。

タイトル 犯罪について
日付 2011年 05月 16日 (月) 22時 02分 3
5秒

ルール破りは確かにうざい。音楽ばんばんに流しながら信号無視し

てる若者のバイクや車を見ると、ぶっ殺したくなる。

ルール破りの犯罪者は地獄に落ちろ！

とはいえ……今日の新聞見て、考え込んでしまった。

ある町長が、業者に依頼して、国や県の指導を待たず、独断でだだど仮設住宅をわずか二週間で建てた。完全にルール違反である。でもこの場合って、何もしない（できない）国や県が犯罪者じゃない???

オレも実は低賃金重労働というルール違反を現在してる。労働基準法違反である。一応、法律では、労働者は適正な報酬を受け、適正な労働をするのが義務となってる。

しかし、オレはルールを破り、お客様に低価格でよいサービスを提供するために、低賃金重労働をしてる。

オレが犯罪者なのか、国が犯罪者なのか。

難しいところだ。勝手にやっているとところはオレに非があるが、労働者に対して何もしない国の態度はほとんど犯罪的である。

タイトル フリーターになりたいフリーター
日付 2011年 05月 16日 (月) 17時 48分 2
8秒

世間でオレはフリーターと呼ばれてるが、フリーターになりたいのになれないと考えている。
なぜか。

フリーターというのはフリーなアルバイトという意味。アルバイトは短期労働という意味。しかしオレは十年も勤務してる。

また、一時期、休日なしで一日13時間働いていたことがあった。そのことから時間にフリーではない。

また、給料が正社員の半分。正社員のように自由にお金が使えない。生活費でほとんどふっ飛ぶ。

そんなわけで、経済的に全然フリーじゃない。

そんなわけで、世間の人々にフリーターと呼ばれながら、オレは、フリーターになりたいフリーターになりたいフリーターになりたいフリーターになりたいと願ってる。

半年前はこんなことを考えていたんだあと感慨深い（早いまとめだな！）

今ではだいぶ考えが変わってる。これを書いたあと、いろんなことが起こったのだ。

（2011・10）

(後書き)

無論、基本的スタンスは変わっていないと思う。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0203y/>

活動報告より、長めの文章

2011年10月29日16時26分発行